

福良小学校 防災教育 第1学年教科別指導計画

* (A) は目標内容に準ずるもの、(B) は教材、題材で関連させるもの、(C) は関連する活動を行うもの

学期	教科	単元名	防災の視点
2	国語	じどう車くらべ	(B) 災害時に活躍する自動車の仕事やつくりを取りあげる。
1	算数	なんばんめ	(B) 救援物資を受け取る時の場面を取り上げる。
2		どちらがひろい	(B) 避難所の居住空間の広さを取り上げる。
1	生活	がっこうともだち	(B) 学校探検で消火栓、AED、非常扉など防災に関する設備について関心を持たせる。
		さあみんなのでかけよう	(B) 公園探検に行く途中で津波に関する表などをみることにより意識させる。
		ひろがれえがお	(B) 地震や津波に備えて、自分が家族のためにできることを考えさせることにより、防災に対する心構えをもたせる。
2	図工	いろいろなはこから	(B) 箱を組み合わせることで避難所の生活スペースをイメージさせる。
1	体育	水あそび	(B) 水害から命を守る方法を知る。

福良小学校 防災教育 第2学年教科別指導計画

* (A) は目標内容に準ずるもの、(B) は教材、題材で関連させるもの、(C) は関連する活動を行うもの

学期	教科	単元名	防災の視点
1	国語	ともさんはどこかな	(B) 災害時を想定し、大事なことを聞き落とさずに話したり聞いたりできるようにする
2		ことばあそびをしよう	(B) 平仮名を組み合わせて、防災に関係する言葉を作ることができるようにする。
3		みんなできめよう	(B) 自分たちの生活の中から身近なことを出し合う場面で非常持ち出し袋についてもふれ、話し合いの話題の一つとする。
1	算数	水のかさのたんい	(B) 体積を表す単位について知り、1日に必要な水の体積を考えられるようにする。
		時こくと時間	(B) 時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、災害が起きた時刻、津波が来るまでの時間など、日常生活に用いることができるようにする。
		長さをはかろう	(B) 長さについての量の感覚を身に付け、海からの高さを想像できるようにする。
1	生活	レッツゴー！町たんけん	(B) 町たんけんの際に危険箇所や注意が必要な場所の確認をさせる。
1	図工	しんぶんしとなかよし	(B) 新聞紙を丸めたり、破ったりして工夫しながら、災害時にもいろいろなことに利用できることを知らせる。

福良小学校 防災教育 第3学年教科別指導計画

* (A) は目標内容に準ずるもの、(B) は教材、題材で関連させるもの、(C) は関連する活動を行うもの

学期	教科	単元名	防災の視点
1	国語	気になる記号	(B) 町にある気になる記号を調べさせることで防災に関する記号があることに気付かせる。
3		しりょうから分かる、小学生のこと	(B) 災害の被害に関する数字や表から災害について考えさせる。
1	社会	わたしたちのまちのようす	(B) 町の様子を調べる学習において古い民家が多いことに気付かせ、過去の災害時による被害についてふれる。
2		店ではたらく人びとの仕事	(B) スーパーマーケットの見学の際、災害用の非常食や防災用品も販売されていることに気付かせる。
3		昔の道具と人びとの暮らし	(B) 昔の道具の使い方を調べることにより、災害時に昔の道具が使えることに気づかせる。
1	算数	時刻と時間のもとめ方	(B) 問題を津波到達時間にすることにより災害のことについてもふれる。
1	理科	風やゴムのはたらき	(B) 風の力を調べる導入において自然現象で起こる風についてふれ、課題づくりにつなげる。
2		電気の明かりをつけよう	(B) 単元の導入時に生活の明かりと合わせ、被災時の明かりについても触れる。

福良小学校 防災教育 第4学年教科別指導計画

* (A) は目標内容に準ずるもの、(B) は教材、題材で関連させるもの、(C) は関連する活動を行うもの

学期	教科	単元名	防災の視点
1	国語	新聞を作ろう	(B) 災害時の取り組みなど、防災に関する事について調べたことを新聞にまとめ発表する。
2		アップとルーズで伝える	(B) 新聞記事(写真)から被害情報などの防災関連情報を集め、災害の恐さや生活への影響に気づくことができる。
1	社会	命と暮らしをささえる水	(B) 災害時の給水方法などについて考え、水が使えることの大切さに気づくことができる。
		地いきのはってんにつくした人々	(B) 安政南海大地震で津波に襲われた広村の絵図をもとに、地震発生時の行動について考える。
1	算数	折れ線グラフと表	(B) 「大地震へのそなえ」の折れ線グラフを見て、時間がたつにつれ防災意識が低くなっていることに気づき、普段からの備えの必要性について考える。
1	理科	天気と1日の気温	(B) 大雨や台風の日でも気温の変化があることに気付かせる。
1		電気のはたらき	(B) 光電池が校内や地域に点在していることを知り、災害時に使われることにふれ、防災意識向上につなげる。
2		とじこめた空気や水	(B) おしじめた空気の力を使って水が発射される消防器具があることを紹介する。
1	体育保健	着衣泳	(C) 水難事故等があったときの落ち着いた対応の仕方を身に付ける。
3		よりよく育つための生活	(B) 慣れない環境で避難所生活を送らなければならないときの、上手な休養・睡眠の仕方について知る。

福良小学校 防災教育 第5学年教科別指導計画

* (A) は目標内容に準ずるもの、(B) は教材、題材で関連させるもの、(C) は関連する活動を行うもの

学期	教科	単元名	防災の視点
1	国語	新聞を読もう	(B) 複数の記事を見比べる際、災害に関する記事を取り上げる。
3		想像力のスイッチを入れよう	(B) 自分とメディアとの関わり方について考えさせる際に、災害関連の報道を取り上げる。
3	社会	私たちの暮らしを支える情報	(A) 災害時におけるラジオのよさや働きを調べることを通して、ラジオのメディアとしての特色をとらえるとともに、災害時におけるメディアの活用の仕方について考える。
		自然災害から人々を守る	(A) 我が国の自然災害について関心をもち、自然災害の防止への工夫や努力を考える。
2	算数	比べ方を考えよう	(B) 自然災害の資料を取り上げ、グラフに表すことで、日本の災害の割合について知る。
1	理科	台風と気象情報	(A) 台風の特徴やそれに伴う災害についての考えを持つことができるようにする。
2		雲と天気の変化	(A) 雲の量や動きは天気の変化と関係があることをとらえるようにする。
		流れる水のはたらき	(A) 大雨などで水の速さや量が増えると、災害が起こることがあることをとらえるようにする。
1	家庭	ひと針に心をこめて	(B) 製作に必要な用具の安全な取り扱いができる。 (B) 災害時での「裁縫用具セット」の役割や製作したものの活用について知る。
3		物を生かして住みやすく	(B) 物の整理・整頓の必要性や方法から実践を通して学習し、日頃から防災を意識した整理・整頓も重要であることを考えさせる。

福良小学校 防災教育 第6学年教科別指導計画

* (A) は目標内容に準ずるもの、(B) は教材、題材で関連させるもの、(C) は関連する活動を行うもの

学期	教科	単元名	防災の視点
1	国語	学級討論会をしよう	(B) 討論会のテーマとして「福良の防災レベルは高いのか」を設定し、地域防災について考える。
		ようこそ私たちの町へ	(B) 計画段階で、防災に関する施設を取り上げ、取材をする。
		未来がよりよくあるために	(B) テーマを考える段階で社会や環境にかかわる「安全」について取り上げる。
2	社会	国力の充実をめざす日本と国際社会	(B) 関東大震災を取り上げ、9月1日が防災の日になった由来を知る。
わたしたちの願いと政治のはたらき		(A) 地震が起きた時の市や県、国の取り組みに関心を持つようとしている。	
3		国際連合のはたらきと日本人の役割	(A) 現在、国が進めている災害や医療面での日本の国の様子を通して、日本が多くの国際協力に参加していることをとらえることができる。
2	算数	速さの表し方を考えよう	(B) 自宅から避難所になる学校までの避難時間を求めることによって、防災に対する関心を持たせる。
		算数の目で見ようー震災の経験を生かそうー	(B) グラフを考察することで、災害への備えについて意識を持つきっかけとする。
3		資料の特ちょうを調べよう	(B) 防災関連のグラフを取り上げ、それぞれの資料の特徴について知る。
1	理科	ものが燃えるとき	(B) 非常時に使える道具にも燃やすくふうがされていることにふれる。
2		大地のつくりと変化	(A) 地震や火山活動による大地の変化と災害とを関連づけて調べる。
3		てこのはたらき	(B) てこの規則性を利用した道具が災害時にも役立つことに気付く。
		発電と電気の利用	(B) 電気を作り出したり、蓄えたりする道具の一つとして手回し懐中電灯を扱う。
1	家庭	夏をすずしくさわやかに	(B) 環境に配慮して夏を快適に住まうための工夫を考える。 (B) 衣服の手入れの必要性が分かり、手洗いで洗濯ができる。
2		まかせてね今日の食事	(B) 栄養のバランスのよい1食分の献立の立て方を理解する。 (B) 日常の食事を見直し、楽しく食事をするについて考えたり、自分なりに工夫したりすることができる。
3		冬を明るく暖かく	(B) 環境に配慮して冬を快適に過ごすための着方や住まい方を考える。
		あなたは家庭や地域の宝物	(B) 近隣の人々との関わりについて見直し、関わりを深めるための方法を考える。